

鹿児島県薬剤師会 / デジタル事業 2026

KPA + 事業構想

会員サービスの共通土台をつくる

今回は「土台」と「SSO」を説明 / 会費・収益設計は次回
委員会 説明会 (7/14 18:30~19:00)

課題と狙い — なぜ「土台」なのか

課題 組織率の低下。会員でい続ける・入る理由が薄れている。

反省 過去の会員向けサイトは一方通行で埋もれた。

バラバラの罫 アプリ毎にログイン・AI・配信を作ると重複し、使い分けを強いられ使われない。

狙い 1つの土台に集約し、双方向・通知・AIで会員が戻り続ける基盤に。

独自価値 県薬の資料に基づくAI=ここでしか得られない答え=入会・継続の動機。

一言でいうと

KPA+は「画面」ではなく、各サービスが共有する『土台』。

その上にアプリを乗せて育てる。既存のFirebase（かやくちゃんが動く基盤）を流用し、会員管理の全面刷新を待たずに小さく立ち上げる。

土台が持つ 3つの共有機能

① SSO

1つのアカウントで会員サービス全部に入れる。名簿・権限を一元管理。

② AI

かやくちゃんを流用。県薬の一次資料に基づく回答をどのアプリからでも。

③ 情報配信

通知・双方向で会員が戻り続ける。メルマガは会員ニュースへ。

留意点

かやくちゃんのキャラクター一般公開には日本薬剤師会の許可が必要 → 全会員向けUIはキャラに依存しない形で別途用意（AIエンジンは流用、見せ方は分離）。

全体像 — 土台の上にアプリ、どん2は別立ち位置

● 会員限定ゾーン（土台に乗る会員アプリ群）

- ・ 会員ニュース+AI相談（最初）
- ・ 研修動画・お知らせ
- ・ 薬事情報センターQ&A（将来）

■ 別立ち位置：薬局どん2

公開の患者検索+会員の情報更新。公的インフラ。土台のSSOを使うが会員限定圏の一員ではない。

▲ 土台の上に乗る ▲

KPA + 土台

会員ログイン（SSO） / AI（かやくちゃん流用） / 情報配信（双方向・通知）

既存の技術基盤 Firebase を流用（会員管理システムの全面刷新を待たずに立ち上げる）

段階的ローンチ — 小さく載せて育てる

1

会員ニュース + AI相談

最初に載せる。社保情報のAI自動配信を会員ニュースの一機能に。

2

研修動画・お知らせ等

順次追加。SSO・配信・AIは土台側を共有。

3

薬事情報センター Q&A

まず取り込み、将来アプリ化を検討。



薬局どん2

バックエンド完成。フロント刷新して合流（立ち位置は別）。

薬局どん2 — 3段階でゲートする

① 公開閲覧

患者・県民向けの薬局検索。非会員薬局も収録する公的DB。

ゲート：誰でも（ログイン不要）

② 機能情報の管理

薬局本人が自店の機能情報を更新。公的サービスなので非会員薬局も対象。

ゲート：③薬局権限（会員ではない）

③ 付帯サービス

AI相談・研修・会員ニュース等のKPA+会員価値。

ゲート：②会員ステータス

原則

機能情報の表示・管理は「会員」でゲートしてはならない（公的サービス）。ゲートは③薬局権限で引き、会員価値だけを②会員ステータスで閉じる。この分離が公益法人としての正当性と会員限定価値を両立させる。

非会員データ — 2つの公的ソース + 会員編集

ソース	中身	どん2との突合
九州厚生局（月次・速報）	名称・住所・電話・保険薬局コード・管理薬剤師・現存/休止	電話→pharmacyCodeで決定論JOIN（実測96.4%）
医療情報ネット（半年・詳細）	詳細な開局時間。PDL1.0無償。電話・保険コードは無し	名称+住所でファジー（重複分ほぼ全自動）
会員・非会員の自己編集	会員が自店を最新化。非会員もオンボードで可	override（最優先で上書き）

実測（手元の実データで名寄せ検証済み）

厚生局↔どん2=電話キーで 96.4% 自動一致（833中803） / 医療情報ネット↔どん2=重複分ほぼ全自動（要人手判定1件） / 医療情報ネットにあってどん2に無い=67件の新規非会員候補（開局時間付きで追加可）。マージ優先度：会員編集 > 開局時間（医療情報ネット） > 基本情報（厚生局）。

ログインは1つ、扱いは3軸

たとえ：ネットバンキング

1つのログインでも「自分の口座」と「権限を持つ会社の口座」は別物。KPA+も同じ —— 入口は1つ、個人と薬局は別の実体。

① アカウント

本人確認だけ。個人／法人、会員でも非会員でも全員が持つ。

② 会員ステータス

会費区分の属性。会員の時だけ会費・研修・議決権・付帯Premiumが開く。

③ 薬局への権限

経営者＝複数店舗／管理薬剤師＝1店舗（法令）／スタッフ。どん2の編集範囲を決める。

「ログインできる」＝「会員」ではない。区分は自己申告でなく会の入会審査で決める。

進め方 — 土台は先行、会員管理は並行

- 2026-06-30 完了**
方向性資料 v1.0。委員会相談の段階へ。
- 順次・次の一手**
土台+会員ニュース+AI を立ち上げ。社保AI配信を搭載。
- 順次**
薬局どん2 フロント刷新→アプリ追加。非会員データをハイブリッド整備。
- 並行トラック**
会員管理システムの刷新（内製化を検討）。パリティ到達後に是非判断。

追加機能プラン — 研修カレンダー（今後）

①

カレンダー案内

②

個人申込(SSO)

③

Stripe決済

④

受講記録

⑤

PS確認
(CPD/JPALS)⑥ 

不足→提案

PS = CPD / JPALS ポートフォリオ

受講内容を自己研鑽サイクル（計画→実施→評価→改善） / JPALSの達成状況にマッピング。ポートフォリオの充足度と不足領域を可視化し、埋める研修をカレンダーから提案する。

実装の要点

会員の個人アカウント（SSO）・ポートフォリオ・決済（Stripe）の上に乗る。Phase 3で段階投入。要件マスタは日薬・認定機構の一次情報のみ（AI生成禁止・薬剤師監修必須）。

次回にむけて — 次回の協議事項

会費・収益設計 統括会費は現行維持+3レイヤー（サービスプラン／物販）。正会員はPremium付帯。

デジタル会員 XIYIZ 会の審査で付与／区分を作らない／価格を上げ広く募集 — 会員離れ・地域偽装を踏まえ選択。

財務シミュレーション 各案の純収益・会員数寄与を概算で比較。

会員管理システムの内製化 都度スポット費用・外注依存からの脱却を検討（★大きな判断）。

本日（土台・SSO）で方向性の感触をいただき、上記は次回に協議します。

会費表を「拡張」するのではなく、
1つの土台の上に価値の層を重ねる。

次アクション：本日の承認を得て、新区分の規程改正案の起草／Phase 2（KPA+ Free+一時金決済）の着手へ。